



# 広報 なかわだ

2017年4月

中和田カトリック教会  
広報委員会

第443号

2017年4月2日

泉区中田北1丁目9-1 Tel. (045) 803-6141

<http://nakawada-catholic.com>



## 「見ないで信じる人は、幸い。」

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

主イエス・キリストの御復活祭を祝う私達に下さった御言葉のようですが、ヨハネ福音20章で、トマに仰った御言葉です。「我が主よ、我が神よ」イエス・キリストが十字架の死から、次々と弟子達に現れた次第が述べられ、21章でペトロ達がガリラアの湖で漁をしている所にイエス様が現れ・・・そこで初めて【復活】されたという言葉が使われています。

ラテン語でRESURREXIT [レズレキシット] 再び起きる、

SURGO [スルゴ] 起きる語源から使われています。

またRENASCENT [リナスセント] 再び生れる、

英語でルネッサンス、文芸復興と、また再起、再現、生れ変わる、

NASCOR [ナスコル] が語源で生れるという言葉もありますが、死んで三日目に蘇ったイエス・キリストにのみ使われる言葉で、まさしく2017年の私達は幸いな者と呼ばれるのに相応しいでしょう。



日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
2	日	主日ミサ (9:00)	四旬節第5主日	聖週間リハーサル
7	金	初金ミサ (9:30)		十字架の道行6 (9:00)
9	日	主日ミサ (9:00)	受難の主日 (枝の主日)	教会委員会
12	水			聖書の会 (10:00)
13	木	聖木曜日ミサ (19:00)	主の晩餐、洗足式	
14	金	聖金曜日祭儀 (19:00)	主の受難	十字架の道行7 (18:30)
15	土	聖土曜日ミサ (18:00)	聖なる復活徹夜祭	
16	日	復活の主日ミサ (10:00)		教会の祈り (9:30)
19	水			聖書の会 (10:00)
21	金	週日ミサ (9:30)		
23	日	主日ミサ (9:00)	復活節第2主日 子どもミサ	
25	火	祝日ミサ (9:30)	聖マルコ福音記者 [祝]	
26	水			聖書の会 (10:00)
28	金	週日ミサ (9:30)		
30	日	主日ミサ (9:00)	復活節第3主日	

# ～ ころろにひびく聖書のみ言葉 ～



私の若いころには、日曜日のミサにあずかっても、み言葉を心に深く止めていたとは言えません。

しかし、歳を重ねた今は、み言葉が心にしみこむように感じ、慰められ、安心し、心が豊かになり、更には心から他人を愛することの大切さを教えられています。

できるだけ、ミサに与ったのが、良かったのだと思います。

私には、聖書の中でイエスが『言っておくが・・・』とか、『イエスは言われた』などに続けて書かれているみ言葉に深く感じるものが多い気がします。

例えば、次のようなみ言葉と関連するその前後の記述。

- ・ 今日、救いがこの家におとずれた。(ルカ 9. 1 - 5)
- ・ はっきり言っておくが、あなたは今日、私と一緒にいると言われた。(ルカ 23. 35 - 43)
- ・ イエスは皆に言われた。私についてきたい者は、自分をすてて日々十字架を背負って私に従いなさい。(ルカ 5. 1 - 11)
- ・ イエスは、シモンに言われた。「恐れることはない。今から後、あなたは人間をとる漁師になる。(ルカ 5. 10)
- ・ あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしが、あなたがたを愛したように、あなた方も互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによって、あなたがたが、わたしの弟子であることを皆が知るようになる。(ヨハネ 13. 31 - 33)
- ・ イエスは、『あなたの神である主を試してはならない』とお答えになった。(ルカ 4. 1 - 14)
- ・ 言っておくが、一人の罪人が悔い改めれば神の天使たちの間に喜びがある。(ルカ 15. 1 - 11)
- ・ 私は、言っておく。「求めなさい、そうすれば与えられる。探しなさい、そうすれば、見つかる。門をたたきなさい、そうすれば開かれる。天の父は、求めるものに聖霊を与えてくださる。」(ルカ 11. 1 - 13)
- ・ 「わたしはあなたに言う。起き上がり床をかついで家に帰りなさい。」と言われた。その人は、みなの前ですぐに立ち上がり神を賛美しながら家に帰っていった。(ルカ 5. 17 - 24)
- ・ はっきり言っておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心をつにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえて下さる。二人または三人が私の名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。(マタイ 18. 15 - 20)
- ・ 自分のために富を積んでも神の前に豊かにならない者は、この通りだ。(ルカ 12. 21)

等々をすぐに思い出しましたが、思い返してみれば、ほかにも沢山あると思います。信者が、聖書のイエス様のみ言葉を思い出すことや、読み直してみるの、とても良いことだと思います。 (中島 喜美子)

## みんなの会

一粒会担当関口さんからの提案で、3月19日みんなの会に特別ゲストとしてベトナム人神学候補生ペトロ・ホアンドウック・ナンさんをご招待したところ、故郷で子供たちに要理の指導をしていた友人のゲンさんも参加され温かな交流となりました。将来ナンさんのような若い司祭が誕生して高齢化が進む当教会と関わっていただくなら、外国籍信徒さんたちの潜在的パワーが引き出されるのではないのでしょうか？今年12月に実施される日本語能力試験を突破して晴れて神学生となれますよう皆様どうぞお祈りください。 (みんなの会 今井)



## 典 礼 研 修 会 に 参 加 し て

毎年2月11日の建国記念日に開催されている横浜教区典礼委員会主催の「典礼研修会」が今年も藤沢教会で行われました。今回で36回目ということですが、聖堂が満席になるのは毎度のこと、信徒の方々の関心の高さを示す研修会の一つだといつも感じます。

今年のテーマは「みことばを生きる共同体」。横浜教区の3人の神父様による講話で、典礼、とくに主日の典礼を通して「みことばをいただく」ということが、日常生活を福音化するために大切であるということを中心に語られました。

講話のトップは、昨年の中和田教会の待降節黙想会に来て下さった岡野神父様。昨年叙階されたばかりで、ミサに関してかつては傍観者（岡野神父の言葉）だったご自分が、当事者になって祭壇上でミサを捧げながら、一つひとつの所作に深い意味を見出された結果として、その一つひとつの流れには、その日の福音のみ言葉が深く関わっているということをお話くださいました。

次の市岡神父様は、冒頭、ビートルズの「Let It Be」の歌詞を持ち出されて、ポール・マッカートニー自身の作による歌詞が日本語に翻訳された段階で、彼の思いと信仰から書かれた歌詞から宗教的な意味が抜かれていることを指摘され、神父様が個人的に訳された歌詞を披露されました。実際の歌詞では、こんなに深い信仰からの心が歌われていたのだ・・・と、改めて感動させられました。ポール・マッカートニーが小さい頃から家族に連れられてミサに通い、聖書のみ言葉が“神の知恵のことば”として彼の心に深く根付いていたのだなと思いました。

続いて、「みことば」であるキリストと共に、聖霊の働きのうちに神によって呼び集められた初代の共同体から、さらに共同体的に奉獻生活を営むいろいろな修道会もできていき、衰退、再生を繰り返しながら現代に至る教会の歩みが語られました。そこには福音書に述べられているイエスのみ言葉を生きる弟子としての姿が一貫しているということを感じました。

最後の締めは教区の典礼委員会の委員長でもある久我神父様。教会である霊的家族の交わりの中で行われる御父への応答としての祈りが「典礼」であり、私たちは神の呼びかけを聴き、応答し、味わい、救いの業への感謝をもってそこに臨むのですとまとめられました。

私たちは、ミサで頂いたみ言葉を、教会から家族へ、そして社会へと派遣されていく中で、宣べ伝え、生きるように召されていることを心にしっかり留めたいと思いました。  
(岩崎 好愛)

## 第 2 6 回 聖 歌 の 集 い の 参 加 の お 願 い

横浜地区聖歌の集いとは、聖歌の集いを通して神への感謝とカトリック信者相互のつながりを強めるという目的で、各教会の聖歌隊の方や聖歌の好きな方が集まり、毎年一回ミサと親睦会を行います。今年は、グレゴリオ聖歌IXクム・ユビロ(cum júbilo)をミサ曲として使用します。下記の予定で練習が始まっていますので、お知らせします。

### 記

- 日 時： 2017年5月28日(日) ミサ開始 14:00
  - 場 所： カトリック中和田教会
  - 練 習： 下記カトリック教会聖堂にて
- ① 2月12日(日) 二俣川教会 14:00~17:00
  - ② 2月26日(日) 山手教会 14:00~17:00
  - ③ 4月23日(日) 保土ヶ谷教会 14:00~17:00
  - ④ 5月 7日(日) 戸塚教会 14:00~17:00
  - ⑤ 5月21日(日) 中和田教会 14:00~17:00
  - ⑥ 5月28日(日) 中和田教会/本番 14:00~17:00

※中和田教会の本番当日、お手伝いだけでもご協力をお願い致します。

(聖歌の連絡担当 大宮 絢子)



## 委員会だより

(文中敬称略)

△3月12日(日) 9名出席▽

### ■日野神父様のお話

・昨日、鎌倉の八幡様で東日本大震災の6年目の追悼の祈りが神道、仏教、キリスト教で行われたそうです。街でイスラム教徒の人は頭には何かかぶっているの分かりますが、カトリックの人は何もアピールするものがないですね。何かアピールするものがあると良いですね。

### ■各グループからの報告

#### ●要理(森脇(彰))

・4月9日に、子どものゆるしの秘跡を行う予定です。あと、子どもの数が少ないので、献金の手伝いを有志の方でもお願いしたい。

#### ●行事(森脇(彰))

・ご復活祭のパーティーの検討をしている。卵の数が昨年は少なかったという反省から、今年は250前後にしたい。場所は準備の関係上、集会所と新集会所の2ヶ所で行う。料理の持ち寄りはないにする。

#### ●建設委員会(岩淵委員長)

・昨日、教区の方も交えて拡大建設委

員会があった。大分建設の要件が進んでいるようなので、全体の面積、地域区分、費用を出してほしい。

地盤の補強の問題は鉄骨にするか鉄筋にするかで費用が違ってくるので検討する必要がある。簡易測量図、公図等も揃え、教区に出してから設計士選定に進むことになる。費用蓄積の方は順調に進んでいるように思われる。次回の5月迄に上記に関する情報を出してほしい等と話された。

#### ●みんなの会(今井)

・2月19日、サロン風にしてにぎやかに話し合われた。これからの予定としては、映画会、ランチの会、ベトナムの神学生との交流会などの提案が出された。

・マザーハウスのコーヒーの販売は、販売元の五十嵐さんのご好意により仕入れ値を1割引きにしてください、その分を建設に寄付できることになった。

#### ●総務(小山(恭))

・4月のスケジュール確認

#### ●広報(武田)

・原稿依頼(締切3月22日)

#### ●福祉(阿部)

・ホームレス支援のために、米、みそ、衣類を戸塚教会に届けた。

#### ●宣教(岩崎)

・千葉茂樹氏の講演会は、5月27日の14時～16時に行われる。

・湘南キリスト教セミナーは、11月に行われる予定である。

#### ●財務(小野)

・2月度の一般会計、建設会計と愛の献金会計の報告が行われた。

#### ●委員長(岩淵)

・建設会計の一括献金の使い道は教区からの返済に充てる趣旨だが、フレキシブルに考えていく。

・建設資金蓄積のグラフの作成及び揭示については、時期を見て発表する。

#### ●典礼(小野)

・3月～5月の典礼ごよみ確認  
・灰の水曜日の出席者は、概ね40名だった。

・3月26日の牧山神父様によるミサ／黙想会／ゆるしの秘跡は予定通り行い、終了後に神父様を囲んで昼

食会を行う。

・4月2日ミサ終了後に、皆様と聖週間リハーサルを行う。

・聖週間の予定カレンダーをカードの形にまとめて信徒に配布する予定。

・「教会の祈り」を復活の主日のミサ前に行う。

#### ■その他報告

・神父様の休暇時の留守番当番を決めた。

・月修資料が配布された。

・鈴木勁介神父様のご本「福音せんりゅう」(千円 売店で販売中)が紹介された。

#### ■討議事項

・ご復活祭前の大掃除は実施しない。

以上

(次回委員会 4月9日)

